

未曾有の多死高齢化社会を迎えつつあるなか、ホスピタリストには時代のニーズを踏まえて患者に満足度の高い医療を提供する役割が求められています。WHOの定義では、緩和ケアの対象を悪性腫瘍に限定せず、すべての治療困難な進行性疾患としています。これは、慢性進行性疾患の終末期に生じるさまざまな苦痛や困難に対して、緩和ケアが行われるべきであることを示しています。また、緩和ケアは特定の場所で提供される医療やケアを指すものではなく、患者と家族の苦痛を軽減し、QOLを向上させるアプローチであると定義されます。つまり、ホスピタリストは、急性期病院において疾患特異的治療を担当するのみならず、疾患が進行し、予後が短いと予測されるようになった段階で急性期病院に入院してきたケースに対し、最前線で自ら率先して緩和ケア（ここでは一次緩和ケア）を提供する役割を担うのです。緩和ケアは、緩和ケア科や専門チームのみが担うものではなく、すべての医療者によって担われる基本的ケアの一部であると理解する必要があります。

本特集では、ホスピタリストが知っておくべき重要項目の知識を整理するとともに、求められる満足度の高い個別ケアをどのように実践すべきか、個々の症例で応用できる内容を提供します。また、これまでほとんど臨床研究はなされてこなかった分野ですが、近年、その必要性が認識され、臨床疑問を解決してくれるエビデンスが得られてきています。これらも可能な限り網羅します。

1. ホスピタリストが知っておくべき緩和ケア概論
2. 疼痛の評価と治療(総論)
3. 医療用麻薬(オピオイド)を含めた薬物療法と副作用対策、疼痛治療の対応(各論)
4. 緩和医療における症状マネジメント:呼吸器症状
5. 緩和医療における症状マネジメント:消化器症状
6. 緩和医療における症状マネジメント:不安、抑うつ&せん妄
7. 緩和ケアと医療倫理・法的側面
8. コード確認・事前指示を含むアドバンス・ケア・プランニング
9. 内科疾患の終末期におけるマネジメント
10. 非がん疾患の緩和ケアの動向(概論)
11. 病院と在宅緩和ケアの連携と在宅緩和ケアの実態
12. 悪い知らせの伝え方とコミュニケーション
13. 緩和医療EBMアップデート

【コラム】緩和医療分野で最近我が国に導入された薬物

【コラム】臨死期の対応

【コラム】緩和ケアコンサルテーションと多職種チーム医療

【コラム】自らの死生観を振り返りスピリチュアルケアの理解を深める

※誌面の都合により、内容が変わることがあります。

●BackNumber

■Vol.1(2013年)

No.1 ホスピタリスト宣言

No.2 感染症

■Vol.2(2014年)

No.1 腎疾患

No.2 膠原病

No.3 消化管疾患

No.4 緩和ケア

■Vol.3(2015年)

No.1 呼吸器疾患

No.2 外来における予防医療

No.3 循環器疾患

イチローは「変わらなきゃ」と言い、オバマ大統領は「Change. Yes, We Can」と言いました。変わらない道を進み続けている人、なかなか変えられないものを抱えてしまった人、とらえ方はいろいろでしょう。モノでいうと、どんどんソフトがアップデートされるスマートフォン。こちらの変化はあつという間です。片や、スローなメディアの雑誌。しかも本誌は年4回の刊行。ずっと変わらない作品も素晴らしいですが、少しずつ手を入れてびったりフィットするものを目指す姿勢にも共感します。デザイナーからの提案、「1枚を2枚に?」「春夏秋冬でローテーション?」「そろそろ実がなりますか?」。本誌も第5号、2年目に入り、そんなやりとりをして、表紙が少し変化しました。1枚の葉っぱから始まり、地に足の着いた変化に貢献できればと思います。不易流行、原点である第1号も、未読の方はぜひお読みください。

●広告一覧

医学書院……726, 828

亀田総合病院……734

かもがわ出版……794

Vol.2 No.3 2014年9月1日発行〔年4回(3, 6, 9, 12月1日)発行〕

Hospitalist

(1部)定価:本体4,600円+税
2014年年間購読料:19,008円(4冊, 税込, 送料弊社負担)

ISBN 978-4-89592-939-4

発行者 若松 博

発行所 株式会社 メディカル・サイエンス・インターナショナル
〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-36
電話:編集部 03-5804-6056 FAX:編集部 03-5804-6054
販売部 03-5804-6051 販売部 03-5804-6055
URL: <http://www.medsico.jp> Eメール: hospitalist@medsi.co.jp
振替:東京 7-28572

印刷所 横山印刷株式会社 電話03-3622-6161
広告取扱 メディカルブレーン 電話03-3814-5980
日本医学広告社 電話03-5226-2791
文京メディカル 電話03-3817-8036
福田商店広告部 電話06-6231-2773

本誌の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)メディカル・サイエンス・インターナショナルが保有します。本書を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて、業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】<社出版者著作権管理機構 委託出版物>本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に社出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。